

自動運転・定期中央委員会発言専門協！

本部は3月30日、闘争申第4号(自動運転列車の信号に関わる事象に対する解明要求)・闘争申第5号(定期中央委員会発言)を開催した。

◎闘争申第4号(自動運転列車の信号に関わる事象に対する解明要求)

・今回の事象が発生した原因は？対策は？

会社)和白駅は、特種な駅で場内信号機の直下より手前に出発信号機のロングがあり、今回は場内 信号機のロングの指示が出発のロングを通過した時点で消去されてしまった。原因は新しいプログラムを追加した事で発生した。今後もしっかり、シミュレーションを実施し不具合の無いように努める。

◎闘争申第5号(定期中央委員会発言)

・日豊本線においての多客の為、乗車が出来ないお客さまが、4月の新学期を迎える時期において更に増えることが予想される。以前協議を行った415系の活用を行われたい。

会社)4月の新学期の多客は予想されるが、ソフト面にはなるが駅に人員を配置し乗車案内を行う。秋のダイヤ改正でも、日が経つにつれお客さまもスムーズに乗車できるようになったので、今回も415系を使うまでは無いと考える。ただし、それで終わりという事ではなく、状況をしっかり見て、何らかの対策をとれるようにしていきたい。

・武雄温泉駅でのリレーかもめ号の車内清掃、椅子の方転の作業など負担が大きい。何らかの対策を。

会社)一部をメンテに作業をお願いしたが、現時点では現状通りとなるが、乗務員への負担は理解している。今後も勉強は続けていきたい。

・車掌の携帯時刻表の作業の記載において、行先字幕の変更が指定されている、区間快速列車など、行先字幕番号を記載されたい。

会社)記載する内容が多いため、全てを記載とはならない。

・日田彦山線においTRのBTRひこぼしライン開業予定について。概要を説明されたい。

会社)現時点では明らかに出来るものは無い。